



APNIC 52 のコミュニティディスカッションで議論される 7つのポリシー提案

APNIC 52 の[オープンポリシーミーティング](#)が 2021 年 9 月 16 日にオンラインで開催されることになっています。以下が新たに議論される 7 つのポリシー提案の概略です。

[prop-135-v001](#): ドキュメンテーション

本提案は、リソースリクエストに必要なサポート文書の変更と、重複の削除を提案するものです。現行のポリシー文書では、リソースリクエストのサポート文書の 5.6 および 5.6.1 に重複があります。

[prop-136-v001](#): 登録要件

文書 APNIC インターネット・ナンバー・リソース・ポリシーの 5.3 は、各リソースタイプに基づいて 3 つのサブセクション(5.3.1, 5.3.2, 5.3.3)に分類されています。本提案は、個々のリソースタイプの登録要件を 1 つのセクションにまとめることで、ポリシー文書の変更を提案します。

[prop-137-v001](#): 準会員への IPv6 割り当て

本提案では、小規模企業や学術・研究者に IPv6 の割り当てを受けるインセンティブを与えることを提案しています。本提案では、APNIC 準会員は、他の組織に割り当てられないという制限付きで IPv6 の割り当てを申請することができます。

準会員は、提案に従って 12 ヶ月以内に IPv6 アドレス空間を使用し、発表することに同意しなければなりません。この期間が過ぎても、そのスペースが公表されなかったり、APNIC ホストマスターがそのスペースが使用されていないと判断した場合、割り当てられた IPv6 アドレス空間はリクレームされ、フリープールに戻されるものとします。

[prop-138-v001](#): ROA での AS_ID の制限

本提案は、APNIC メンバーがプライベート、予約、または未割り当ての ASN を持つ ROA の作成を制限することを提案するものです。本ポリシーは、誤って作成されたボーゴン ROA を減らすことを目的としています。

[prop-139-v001](#): SOR 不要

本提案は、ほとんど使用されていない LIR のセカンドオピニオンリクエスト(SOR)プロセスをポリシーから削除することを提案するものです。これは、IPv4 が枯渇したことで必要なくなったもので、IPv6 でも必要ありません。

[prop-140-v001](#): エンドサイト定義の更新

本提案では、IPv4 と IPv6 デリゲーションとの混同を避けるため、ポリシー文書において「エンドサイト」と「エンドユーザー」の両方を明確に定義することを推奨します。

[prop-141-v001](#): IPv4 アドレスの最大デリゲーションサイズを 512(/23)から 768(/23+/24)に変更

本提案では、以下のデリゲーションを提案します。

- 2019年2月28日(木)以降に512(/23)個のIPv4アドレスのみを受け取った、既存のAPNICアカウントホルダーに対して、256(/24)個のIPv4アドレスを追加提供
- 768個のIPv4アドレス(/23+/24)を新規会員に提供

ぜひご参加ください! あなたのご意見をどうぞ

優れたポリシーは様々なコミュニティから寄せられる幅広い意見から生まれます。ぜひ、ご意見をお寄せください。ポリシーは、オープンで透明性のある、ボトムアップの話し合いと合意決定を通じて策定されます。

Policy SIGの[メーリングリスト](#)に登録するか、[APNIC 52のポリシーSIG](#)フォーラムに直接またはリモートで参加して、これらのポリシー提案についてご意見をお寄せください。